

## 今、教育委員は！

平成27年8月  
教育委員 増田友厚

### 1 「ぬくもり」を探し求める子どもたち ～子どもをめぐる悲しい出来事の連続に思う～

#### 心の「今」

子どもの頃に抱きしめられた記憶は

人の心の奥のほうの大切な場所にずっと残っていく。

そうして、その記憶は

優しさや思いやりの大切さを教えてくれたり

一人ぼっちじゃないんだって思わせてくれたり

そこから先は行っちゃいけないよって止めてくれたり

死んじやいたいくらい切ない時に支えてくれたりする。

子どもをもっと抱きしめて下さい。

ちっちゃなこころはいつも手を伸ばしています。

「抱きしめるという会話」の一枚の写真に添えられた詩です。覚えておいででしょう。数年前にAC広告機構が各新聞に掲載したものです。

多くの子どもたちは、一人ぼっちのさみしさ、誰もわかってくれない孤独さ、頭ごなしの上から目線の言葉へのいらだち、など不安の中にいます。ぎゅっと「抱きしめる」ことは、その時の子どもの喜び、切なさ、つらさなどを敏感に受け止め、「頑張ってるね。よくわかっているよ。」とぬくもりのエールを送ることです。うれしそうな子どもたちの笑顔が見えてきます。

「それでも僕の親？」「大人はどうして気分屋なの。」肩を震わせて訴える子どもたちに多く出会いました。本当は、どの子も皆、今立っている舞台上で懸命に生きています。そのほんの少しの努力や成長に気づいて、受け止め喜んでくれる人をさがし彷徨っている子たち。私たちは語りかけたい。「うん、よくやってるね。わかっているよ。」と。

子どもであれ大人であれ、人は誰でも包まれる安堵のひと時が必要なのでしょうか。

二学期を迎え、運動会や文化祭など子どもたちのガンバリに気付ける時節を迎えます。昨日より今日、今日より明日と、子どもたちの小さな変化や発展に気づき、笑顔で声がけのできる情感豊かな大人でありたいと思います。

## 2 永田 萌 ー夢見るチカラー 展 9月6日まで

7月から開催されている特別企画展には、夏休み中でもあり、親子連れを始め多くの皆さんが観覧しています。8月22日には「夢見るチカラが育むもの」の演題で永田萌講演会が、創錬センターにおいて開かれました。主だった作品への思いや制作にまつわる秘話等を交えてお話し下さり、参加者は皆、ゆたかな感性に触れ、至福の時をいただいたものです。

講演会参加者からのご感想を紹介いたします。

初期の作品からはじまって、この企画展直前に、佐久市をイメージして描いて下さったという「コスモ스에 囲まれた 精」までをスクリーンに映してお話下さいました。ほれぼれするような情景が、次々に展開します。それぞれの画面には、これまた美しい姿態の 精が舞います。思わず、夢見る世界に引き込まれてしまいます。

三人の 精が舞い踊る一枚があります。先生は、「愛と夢と希望」の象徴と話されました。

未来が開けます。先生に感謝です。新佐久市誕生10周年を祝い、これからの道しるべとなる貴重な企画にも感謝です。

(講演会参加者の感想より)

親子で美術館を訪ね、ゆっくり鑑賞下さることもお勧めです。

## 3 この夏、学び、たくましくなった子ども達

各地域では、子ども達の参加する様々な行事がありました。早起き体操、プール、お祭り、キャンプ等です。お世話下さった多くの皆さん、ありがとうございました。

社会教育部担当の行事を報告します。

ふるさと創生人材育成事業として、友好都市モンゴル国ウランバートル市スフバートル区並びにアメリカ合衆国テキサス州ヒューストンの中学生海外研修を行いました。

アメリカへは、7月27日～8月5日、モンゴルへは7月29日～8月5日の各日程でした。「どの子の表情も達成感でいっぱいでした。」迎えに出た皆さんの感想です。異文化の中で、いろんな出会いがあり、新しい体験があり、自己を見つめ、将来への方向まで考えたことでしょう。今後、それらの諸報告は、いろいろな機会になされます。



<モンゴル スフバートル区役所前にて>



<アメリカ スペースシャトル前にて>

この他、7月、8月の青少年対象の下記の取組等に多くの参加がありました。

- ① 7月18～19日 第11回佐久市少年野球大会 19チーム参加
- ② 7月18日 第11回佐久市少女ミニバス大会 11チーム参加
- ③ 7月31日～8月2日 銀河連邦子ども留学交流
- ④ 8月6日 第36回少年考古学教室
- ⑤ 8月11日 第6回 a b n 佐久市ジュニアゴルフ大会

取組を通して一回り、二回り大きくなった子ども達の活躍がたのしみです。